

造形芸術教育協議会・シンポジウム

教育課程改訂に向けて美術教育研究は何を提起できるのか？

次期教育課程改訂に向けて「美術教育研究の立場から何を提起できるか」を中心に美術科教育学会・大学美術教育学会・日本美術教育学会の三学会が共同でシンポジウムを行います。シンポジウムには、これらの学会の会員はもちろんのこと、美術教育に関わるすべての方に参加していただけます。

可能な限り最新の情報に基づいて学校教育を取り巻く今日的状況を分析すると共に、学校教育における美術教育の意義についての理解を深め、広くアピールしていただくための多様な側面からの意見を交換し、共有していく場として、多くの方にご参加いただきたくご案内いたします。

主催：造形芸術教育協議会（日本美術教育学会・大学美術教育学会・美術科教育学会）

◇基調報告（話題提供）

「図工・美術科の教育課程を考えるための資料紹介」

・・・藤江 充（美術科教育学会 理事・愛知教育大学名誉教授）

「米国における21世紀型スキルの美術教育への展開」

・・・徳 雅美（カリフォルニア州立大学チョコ校・教授）

◇パネルディスカッション

司会

・大橋 功（日本美術教育学会 事務局長・岡山大学准教授）

パネリスト

・神林 恒道（日本美術教育学会 会長・大阪大学名誉教授）

・増田 金吾（大学美術教育学会 理事長・東京学芸大学教授）

・永守 基樹（美術科教育学会 代表理事・和歌山大学教授）

日 時：平成27年3月8日（日）：受付 13:30／開催 14:00～16:30

会 場：JR静岡駅ビル「パルシェ」／7階（第2・3会議室）

〒420-0851 静岡市葵区黒金町49番地

参 加：無料（できましたら事前にご連絡ください）

連絡先：岡山大学・大学院教育学研究科 大橋 功

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1/ E-mail: isa-o@okayama-u.ac.jp



「造形芸術教育協議会」

造形美術教育の理論研究を通してその振興を図ることを目的として「日本美術教育学会」「大学美術教育学会」「美術科教育学会」の三学会によって2009年度に結成されました。

年に数回、三学会の代表者等が集まり、連携の具体的課題を協議し、現在まで、それぞれの大会への相互参加の活性化や情報交換、共通の課題に関するシンポの開催や共催などを進めてきました。